

長浜市人権尊重審議会（第2期 第1回）要点録

開催日時	平成24年11月21日(水) 午前10時～11時40分
開催場所	長浜市役所 別館2階 第1委員会室
出席委員	真山委員、富永委員、鳶津委員、渡辺委員、北川委員、徳田委員、福永委員、岸田委員、中橋委員、中村委員（10人）
欠席委員	荒木委員、池野委員（2人）
事務局	人権施策推進課職員 2人
傍聴者	1人

1. 開 会

【事務局】 定刻になりましたので、はじめさせていただきます。本日は、お忙しいなか、お集まりいただきましてありがとうございます。

ただ今から、第2期の第1回「長浜市人権尊重審議会」を開催いたします。開会に先立ちまして、「長浜市人権尊重都市宣言」のご唱和をお願いします。

<長浜市人権尊重都市宣言 唱和>

2. 委員の委嘱

【事務局】 「人権が尊重されるまち長浜」の実現を目指して、人権施策の推進に向けた重要事項を審議する機関として、平成22年10月に設置しました「長浜市人権尊重審議会」ですが、2年間の委員の任期満了に伴い、第2期の委員の皆さまによる1回目の審議会を行うこととなりました。

ここに12名の皆さまに委員としてご就任をお願いしているところです。次第の3ページ目に第2期の委員名簿を載せていますので、参考にしてください。

本日は、市長から直接、委嘱書を皆さまに交付させていただく予定をしていましたが、公務の都合で出席させていただくことができませんでした。誠に失礼ですが、それぞれのお席の方に委嘱書をお配りさせていただきましたので、ご確認いただきたいと思います。

それでは開会にあたりまして、人権施策推進課長からごあいさつを申し上げます。

3. あいさつ

【課 長】 大変寒いなかをご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、第2期の人権尊重審議会委員をお願いしましたところ、大変お忙しいなかにもかかわらず、ご快諾いただき、重ねてお礼を申し上げます。第1期の委員10名の方が残っていただき、新任の2名の方も、人権に非常に造詣の深い方で、審議会を運営していくうえで、大変心強く思っております。

第1期では、重大な課題でありました「人権施策推進基本計画」を策定させていただきました。何度も会議を重ねていただき、大変貴重なご意見をいただき、基本計画ができたわけです。この第1期の最後の審議会において、進捗管理の資料をご提示させていただきましたところ、そもそもこのような進捗管理でいいのかというご意見もいただきました。

本日は、新年度からの進捗管理について、ご意見をいただきたいと考えております。

人権尊重と言いますと、事業をして実績が見えてくるということだけに留まらず、市民の意識がいかにか高まったかというところまで測っていくのが、真の人権尊重の基本計画の進捗管理だと思います。試行錯誤しながら作り出した資料に関して、皆さま方のご意見をいただきたいと思います。

【事務局】 議事に入ります前に、今回新たにご就任いただいた方もおられますので、一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。

<事務局自己紹介 → 委員自己紹介>

【事務局】 本日の資料の確認をさせていただきます。

①本日の「次第」が表紙の綴り、②「資料1:新年度の進捗管理案について」、③「資料2:平成25年度 人権施策推進基本計画関連施策の状況」、④「(参考資料)滋賀県人権施策推進計画」です。お揃いでしょうか。

それでは、長浜市人権尊重審議会につきまして、簡単に説明させていただきます。

【事務局】 「長浜市人権尊重審議会」について

・「次第」の4、5ページに基づき、審議会の構成員、任期等について説明

4. 議 事

①会長および副会長の選出

【事務局】 本日の議事に移らせていただきます。2期目の会長が選出されるまでの間は事務局で議事を進行させていただきますので、よろしくお願いたします。

早速ですが、審議会の2期目の会長と副会長の選出をしたいと思います。「長浜市人権尊重審議会の組織及び運営に関する規則」第4条に「会長及び副会長は、委員の互選により定める」とあります。どのようにさせていただきますでしょうか。

参考までに、1期目は会長を真山達志さん、副会長を富永喜久男さんをお願いしたところ です。

【委 員】 1期につきまして、会長、副会長に非常にお世話になりました。できれば、2期も引き続いて、真山先生と富永さんをお願いできたらと思います。どうかよろしくお願いたします。

<拍手>

【事務局】 ご異議ございませんか。

それでは2期につきまして、会長を真山達志さん、副会長を富永喜久男さんをお願いしたいと思います。

ここからの進行は、会長の真山達志さんをお願いしたいと思います。

【会 長】 改めまして、よろしくお願いたします。2期に入ります前に、ご挨拶を申し上げます。

今日もこの後の議題に出てくると思いますが、これからは具体的に、長浜市で人権施策がどのように進展しているか、あるいは効果が上がっているのかどうかを、検証・評価して

いくことが中心になるかと思います。第1期では、この基本的な計画づくりを含めて、長浜市の人権尊重についての大きな枠組み、方向性をご検討いただいたわけですが、その中で出てきましたいろいろな考え方、方向性が、今後、長浜市で実を結んでいく段階になっていますので、その辺りをじっくりと検討していただき、修正すべきところは修正するようご提言をいただければと思っています。

ただ、長浜市の外から見ていて、長浜市にお住まいの方は案外、気づいておられないかもしれませんが、人権施策についての取組は、おそらく長浜市は滋賀県内でも相当熱心な、あるいは先進的と言ってもいい取組をされていると思います。

他のどの市町についても、人権は当然、重要なテーマとなっていますし、それなりの取組があるのですが、例えば、進捗管理についても、各関係課が作成した資料の中味を見ると、他の市町では、担当課が評価シートなどを照会しても、本当におさなりの回答しか返って来ない。これでは評価にならないというケースがよくあります。長浜市は、市役所全体を含めて、もちろんその前提として市民のみなさんが、人権に対して非常に意識が高く、熱心に取り組んでおられると思います。それをさらに高めていって、人権尊重都市として恥じない長浜市にしていいただければと思います。

②会議の公開について

【会 長】 それでは、議事の「①会長および副会長の選出」は終わりましたので、「②会議の公開について」に入りたいと思います。

次第の最後のページの「長浜市人権尊重審議会の会議の公開等に関する方針」に基づき、本日の会議についても公開させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

<傍聴者1名>

③「長浜市人権施策推進基本計画」の進捗管理について

【会 長】 人権施策推進基本計画の進捗管理について、事務局から、説明をお願いします。

【事 務 局】 「長浜市人権施策推進基本計画」の進捗管理について

・「資料1:新年度の進捗管理案について」

・「資料2:平成25年度人権施策推進基本計画関連施策の状況」に基づき、新年度の進捗管理の手法として、実行シートⅠ・Ⅱについて説明

【会 長】 進捗管理をどうかたちで進めていくか。もちろん単なる進捗管理に留めるのではなく、それを基に評価までしていくことを視野に入れて、進捗管理のための指標づくりをするわけです。今、一つの案をご説明いただきましたが、かなり複雑な部分やわかりにくい部分もあるかと思います。今の説明、資料について、ご質問やご確認いただきたいことがありましたら、何でも結構です。

【委 員】 「資料2」の1ページ[1]基本的施策の推進の【施策指標】に「自治会における人権学習会の開催率」と「事業参加により人権尊重意識が向上した人の割合」の2点が挙がっ

ています。前回審議会の「説明資料1:指標確認表」を見ますと、基本的施策の中で「人権学習・啓発の推進」に非常にたくさんの項目があり、それぞれたくさんの指標が挙がっていますが、この中で特に今回の「自治会における人権学習会の開催率」を選んだという理由は何かあるのでしょうか。どうして、この指標なのかがわかりません。

【事務局】 「(参考資料)滋賀県人権施策推進計画」では、この指標をなぜ挙げたかという説明を、「この指標を選んだ理由」として記載しておられます。この点が、市の資料では抜けています。なぜ、これを代表的な、統括的な指標に挙げたのかという理由を、今後、記載していくべきと考えます。

ただ、現在、当課において「人権学習・啓発の推進」で一番力を入れているのが、自治会での人権学習ですので、挙げさせていただきました。数値が出てくる点でも活用しています。このことに、職員や予算、時間を費やしているの、実績を出してくるのは重要だと考えています。

「資料2」には、費用や人員をどれだけ費やしたかは全般的に入っていません。人権施策の事業に関しては、人権尊重という主目的がありますので挙げてくる必要があると思いますが、他の福祉関係は人権尊重だけではない要素もありますので、費用の部分が挙がっていません。ただし、施策の指標として、バランスをとって挙げてくるべきと考えています。

【委員】 実行シートⅠと実行シートⅡがもう少し明確にわからないのですが、例えば「資料2」の1ページでも、県の調査を基に考えた指標を設定されているように思います。

今、長浜市民がどう考えているかを測ったうえで施策があり、そしてもう一度、長浜市として調査をするのなら非常に明確ですが、県の調査を基にするので、そこに行政を合わせていて、施策の指標も決めにくいのではと思います。長浜市独自の施策があり調査をすれば、もっと自由にできると思います。県の調査などの既設の調査を利用することが根底にあると思います。その辺りはどうでしょう。

【事務局】 実行シートⅠとⅡの関係についてですが、取り組む課では、担当事業に関しては一生懸命しても、最終的に住民の福祉向上に結びついているかというところまで目が向けられるかと感じています。ただの実績値で挙げると、自分の課の事業の取組が当初のねらいどおり終了したというだけで終わってしまうので、その事業を何のためにしているのかを測りたいと思い、資料を作っています。

ねらいとしては、個々の事業を実行シートⅡで細かく挙げ、そこで実績が出てきますので、最終的に目指している部分を「成果指標」として挙げています。実行シートⅠは、政策や施策、上位の市の基本構想等に結びつくところになると思います。分野別にも挙げていますが、ここで、何のためにこの事業をしているのかということに、事業をしている者の目を向けさせるねらいがあります。

次の、県の調査の数値を使用している点ですが、まず数値としてこのようなデータを持っていないので県に相談したところ、今回の調査から、各ブロックごとに細分化した調査結果を出しているの、参考にしてはとのことでした。人権は国・県・市と二重三重の行政になっているので、活用することは必要だと思います。市の独自調査というのは、例えば県の調査は5年計画でされているので、その合間にしていけばどうかと考えています。

ただ、この設問を出すのも、県の審議会を見ていると、非常に何回も審議されていますので、予算の関係等もあり、内容も含め、今後考えていきたいと思っています。

また、例えば「資料2」の3ページ「子どもの人権問題」の【市民意識の指標】ですが、地域の中で子どもを育てていくという大きな目標で「次世代育成支援対策行動計画」が策定されており、そこで意識調査をしているので活用しています。次の4ページ目の“高齢者の人権問題”では、「生きがいがあると考える高齢者の割合」が挙がっていますが、これもそのような調査をしています。

このような福祉の計画は、5年なり3年なりに1回、法定で定められているので、予算も使って意識調査をしています。市民にどうしているかを見ると、「今の現状はどうですか」「どういことをしてほしいですか」という要望の調査や現状把握に終始しています。さらに聞いてもらいたいところが意識の変化ですので、そのアンケートに何とか載せられないか、定期的にフォローできるような設問の設定を各アンケートに載せていくことも検討していきたいと考えています。

まだ関係各課とは十分な打ち合わせができていませんが、当課が考えるのはこのようなレベルなので、このような指標を標準的に持ってもらい、市民の福祉増進、人権尊重意識の向上に目を向けた施策をすることをねらいとして作っています。

【委員】 基本的に、県の調査はサンプル数が非常に少ないと思います。長浜市民がどれだけ答えているかという点と、しかも湖北ブロックは長浜と米原ですから、こういう指標に値するのかが疑問です。

【会長】 実行シートⅠとⅡがどういう関係か理解しにくいのですが、実行シートⅡは、それぞれの課がどういう取組をしたか、実績として何人集まったかという数値を入れて、その取組によってこんな効果が出ていますというところまで各課が記入し、それを事務局が全部集めるということですね。

実行シートⅠは各課から出てきたものをベースに人権施策推進課で作成する。といっても、上の[1]基本的施策の推進は決まっているので全部埋まっていますが、【施策指標】や【市民意識の指標】に何を入れるかを考えながら、数字を入れていく作業をするということです。

そのときに、【市民意識の指標】にどういう指標をとるかもさることながら、どういうデータを利用するかで、県の人権に関する意識調査を利用されている部分があくつありますが、それにはいろいろと問題や限界があるわけです。

一つには長浜市独自ではなくて米原市が入っていることと、長浜市民のサンプル数が相当限られていることもあります。さらには5年に1回で非常に間隔が広いので、この県の調査だけに依存すると、なかなか長浜市の実態を的確に把握するのが難しい面もあります。

もちろん、この県の意識調査だけではなく、長浜市が独自にいろいろな計画づくりなどの際に調査されているアンケートや意識調査も、分野によっては利用するわけですが、どういうデータを使うのがいいのかという点があります。また、市独自にするには、予算的な面等、いろいろ制約があるので難しいのですが、仮に県のものを使う場合でも、5年に1回で本当にいいのか等、検討が必要だと思います。

ちなみに統計学的にはサンプルさえうまく抽出すれば、400あれば絶対正しい数字が出ると言われています。400以上いくら集めても統計学的には意味がないと言われている

す。ただし、サンプルの選び方は偏りがあつたら意味がないのですが、まんべんなくサンプルを選んだら、400ですべての傾向が出ると言われています。長浜市でまんべんなく選んだ中から400を選ぼうと思うと、やはり5,000から6,000送付しないと、400集まらないと思いますので、それなりのお金がかかるということになります。

他に疑問に思われたことや、もちろん意見でも結構ですが、何かありませんか。

【委員】 結構、可視化ができるのでわかりやすいという感じがしています。しかし、数字だけで一人歩きしてしまうと、少し怖い面があります。

それから目標値の年度がそれぞれ違っているのですが、何か意図があるのですか。

【事務局】 今の1点目の、数字だけで一人歩きしないようにという点は、押さえて作りたいと思います。年度がまちまちなのは、各計画の市民意識調査の年度にとりあえず合わせたということです。

独自調査の話がありましたが、何を聞くかというのも、また大変になってくるかと思えます。どういう聞き方をするかも、この審議会でご意見いただければと思います。

長浜・米原の人口比が3対1くらいで、長浜市の数字がかなり反映されるとは思いますが、県全体の平均値と比べることも参考になるとは思いますが、やはり独自の政策を遂行していこうと思うと、そのようなサンプルを参考にしながら、市独自のアンケートも考えていきたいと思っています。

【委員】 前回の資料を見ると、たくさんの項目があり、たくさんの指標があります。基本的施策も、家庭、学校、地域社会、企業と様々です。それを絞り込んで、1点だけとりあえず自治会と絞ってしまっているのだろうか、二つ三つあってもいいのではという気もします。

とりあえず今年はずないうことをやりますというのならいいのですが、5年6年というスパンでの仕事ですので、自治会はするけれど、他の企業や学校はとりあえず置いておいて・・・となってしまうと、担当課の意識も、今年はずなくてもいいのかとなってしまうてはいけないので、その辺りが全体的な整合がとれるのか、少し心配します。

施策の指標があつて、それに基づいて、それを結果として、市民がどういうふうに着意識が変わってきたかというのが順番だと思しますので、先に市民意識の指標があつて・・・というのは、少しおかしいという気がします。

【施策指標】の欄がブランクのところもあります。前回までの資料の中でそれなりに指標設定はされていますので、その辺りも参考に、やはり資料を出す段階で施策の指標は当然あるべきだと思います。

【事務局】 前回は、事業をできるだけ漏れなく網羅して資料を作成したのですが、やはり優先順位がないと、これも人権、あれも人権となってくると思えます。整理ができていないところもありますので、まずは全体の取組も出して、それから優先的な事業を抽出していく。あまりにもたくさん事業を出して、いろんな目標を付けていると、何をしているのかわからなくなりますので、象徴的なかたちで最終的な指標を出していこうと思います。何個か候補を挙げながら、絞り込みをして、見やすく納得いくようなかたちが理想だと思います。全部の取組を挙げる、また優先順位を付けて絞り込むという作業を、一度にはできないと思いますが、まず漏れなく挙げて検討するところからやりたいと思います。

【会長】 「資料1」の裏側に、実行シートⅠと実行シートⅡのそれぞれの市の考え方が説明されていますが、下の実行シートⅡの方は比較的すっきりしています。つまり計画・プランがあって、それから次にプランの実行に関わる部分、アウトプットを表す「活動指標」、その活動した結果どういふ成果が出たかというアウトカムを表す「成果指標」、そういう区別がわりと明確にされています。

ただ、上の実行シートⅠの【施策指標】の性格付けが若干曖昧で、複数の要素が入ってしまっています。一応、この説明は「総括的な、または代表的な実績数値を指標とする」ということなので、ここで使う指標は下の方でいくと、アウトプット指標を使うと読めます。ところが実際使われている指標を見ると、必ずしもアウトプットではなくて、アウトカムに当たるような指標が使われているものもあり、両面が混在しています。

例えば一番最初に出てくる実行シートⅠの例にあるように「自治会における人権学習会の開催率」はアウトプット指標です。ただ代表的なものだということで、今回ここで取り上げられていますが、取り組む側としては特に力を入れたという思いはあるかもしれませんが、資料だけ見れば、確かにどうしてこれだけ挙がっているのかという気がします。

しかも下の段にある「事業参加により人権尊重意識が向上した人の割合」はアウトカム指標なので、同じ欄に上の段はアウトプットで下の段はアウトカムと、レベルの違うものが混在しています。そのことが結果的に、なぜ人権学習会だけ特に強調しているのかという疑問を、余計増幅するのではと思います。

ですから、ここをもう少し整理して、思い切って施策指標のところはアウトカム指標を入れると割り切ってしまう。いわゆるアウトプット、実績に関わる場所はこのシートではもういちいち見ない。実績がどうだったかは実行シートⅡの方を見てください。事業ごとにどのくらい頑張ったかというのは実行シートⅡを見てください。そういう事業をいくつか組み合わせた結果、どういふアウトプットが出たかを、この実行シートⅠではまとめるという役割分担を明確にした方がいいと思います。

ちなみに一番下の【市民意識の指標】は、評価では「インパクト」というのがあり、要するに、影響や波及効果のことです。

実際、市民意識というのは、一つの事業をすれば市民意識が変わるわけでは決してなく、いろんな事業や事業以外の社会の価値観の変化等、様々なものが影響して変わってくるので、事業そのものが直接、効果が上がったのかどうかは、必ずしもはっきりしません。しかし、結果的にいい方向に行ってるかどうかをきちんと見ておく。事業もおそらくその一翼を担ったのではないかと言えるものが市民意識で、通常、評価では、インパクト評価と言われている部分に当たると思います。これはこれでちゃんと押さえておかないといけないと思います。

ただ実際に、事業や市の取組の評価で、とりあえず問題なのはアウトカムの部分でしょう。ですから、いろんな学習会を開催したとか、参加者が非常に多かったというのは実績としては非常にいいのですが、実態を見たら、動員されて、嫌々出ていたということもあるわけです。その場合、参加者数は多いけれど、出た人はほとんど話を聞いていないということになってしまうと、アウトカムが出てこないのです。つまり、「この学習会に意味があった」「学習会の結果、自分の考え方が変わった」「何か知らないことに初めて気付いた」など、何か効果があったかがアウトカムです。だからそこを実行シートⅠではきちんと押さえておく。「参加した人が人権意識が向上したと思ったかどうか」「人権についてもっと考えないといけないと思ったかどうか」を調べておいて、そこがこの【施策指標】に入ってくればいいと思います。

ただ、各事業ごとにそういうことを調べていないケースが多いので、そこをどうするかです。

【事務局】 まず、見ていただいてわかる表にしなければいけませんし、まだまだ整理ができていないと思います。

この指標を作るのに、市の中のいろんな計画の進捗管理の表も参考にりましたが、なかなかこのような評価の進捗管理をしているところがなく、前回当課が出させていたような表が主流になっています。外部でも参考になるものが少ないので、この辺りはもう少し勉強しながらということですね。

ただ、評価に関しては、国の方でも、もう10年以上も前に、このアウトプットやアウトカムという考え方で評価をしているようですが、なかなか実行されていないと思いますし、大変難しいとも思います。

また、学校や教育委員会関係も、なかなか測る指標が見つからなかったもので、市の中でレベルを揃えるということも大切だと考えていますので、検討していきたいと思えます。

【委員】 施策指標の設け方で、成果指標にする方がよいという話もありましたが、たぶん施策指標の中に成果指標を設けるのは、非常に難しいのではと思います。例えば、自治会に対する施策指標がアウトプットであっても、自治会の学習会をたくさん開催したけれど、あまり市民意識が変わっていないというのは、ここでわかります。施策指標はそのように設けたけれど、施策指標と市民の意識とのギャップでわかるわけで、そういうねらいもあるのではと思います。

というのは、施策指標の中に、成果指標を全部網羅しようと思うと、かなり困難ではないでしょうか。そうではなく、施策はやってきたけれど、反映されてなかったというのが反省点であり、そこから学ぶことはたくさんあると思います。それなら、逆にアウトプットの方が書きやすいのではとも思います。

【事務局】 実行シートⅡで大事なところは、これまでの見直し、改善などを反映して今年度やろうとしているかということ、計画の段階で認識させようという点です。評価する前にまず計画が大事とよく言われますので、何となくやった結果の評価をしているのではなく、計画段階からそれを認識して進めていくという部分が大事だと思います。年度当初にそこを認識してスタートしてもらおうということです。

評価については、空欄のシートを出してくる担当課がたくさん出てくるかもしれませんが、それでも、こういうかたちで意識を向けなければならないということ、何とか出していきたいというのがねらいです。まず実績をしっかり押さえることも大切だと思いますので、内部協議の中で、検討させていただきたいと思えます。

【委員】 行政が仕事をするのは基本的にすべて人権に関わることですが、行政の計画では、民生関係、教育関係が主体になっていて、本当に長浜市全体の行政が人権を考えるということになっていない。そこが非常に残念です。

例えば、予算要求をするときに、シートの中に、人権についてあなたの課はどう思っているのか、この仕事をするときに人権の視点から何を考えているかということ、必ずいつもすべての課に考えさせるということをするとか、何かそういう仕組みをしていないと、人権

に関わる課だけがすればいい、私たちは関係ないということになってしまうと、とても残念です。みんなが本当に真剣に考えてもらうという仕組みを、どこかで見えるかたちでつくってもらえるとありがたいと思います。

【事務局】 「人権尊重の視点からの行政の推進」という大きな目標があるのですが、人権は担当課がしていればいいのではないと、この基本計画ができたときも、真山先生から講演を全職員にさせていただきました。全課にどうやってアプローチをしていくかという点も考えていきたいと思います。

【委員】 例えば、最近では学校でのいじめという問題がマスコミ等を通じて盛んに言われています。今までの学校側の姿勢というのは、故意かどうかは別にして、できるだけ隠すという傾向が非常に強かった。

しかし最近では、それをオープンにすることによって、地域社会における子育ての問題や教育の問題を、みんなで考えてください、そういう環境づくりをしましょうという意識に変わりつつあります。

しかし、それはある一定の枠の中であって、実際、学校にとってみればすべてオープンにすることには、相当抵抗があると思います。学校における問題・課題というのは、それぞれ違って来るわけですから、すべて同じというわけにはいきません。そこに言ってみれば、社会と教育現場とのギャップが必ず出てくるわけです。

当然、今の評価という問題も、そこにはいろんな問題・課題が出てくるのではないのでしょうか。そういうものを数値で表すというのは、なかなか至難なことだと思いますし、それが $1+1=2$ という単純な作業にはならないと思います。そういう問題は、必ずどんな問題にしても、表裏一体として出てくるのではないのでしょうか。そこには分析の難しさもあるし、またそれを精査してクリアすることによって、次のステップへつないでいくことができるかもしれません。また、大きな意味のある資料として我々に提供してもらうこともあるでしょうし、社会に訴えることもできるのではないのでしょうか。

だから一概に、単純に割り切れる問題、ボリュームの問題だったらいいのですが、そうでないところを、どう私たちが考えていけばいいのか。そういう意味では、行政も同じだと思います。

【事務局】 今、一番人権に関心が高まっているいじめの部分が、このシートではなかなか表せません。いじめの件数等、数字には出てくるかもしれませんが、ただ単にそれでいいのかということもあります。数値でなく、空白の部分をどうするのか、もっと大切な関心のある部分をどうするのかということは、別の扱いで何か考えた方がいいのかと思います。

【会長】 確かにシートだけでは表しきれないものが、たくさんあります。こういうシートはある程度、経年的に同じ基準で作っていく必要がありますが、例えばその時々大きな問題になっているものについては、シートとは別に、あるいはシートに付け加えて、評価として、文章できちんと書く部分も必要だと思います。

こういう仕組みにしているけれど、新たに出てきたこの問題については、十分な配慮が出来ていないとか、項目ごとや全体を通じて文章化が必要です。原案は事務局が作るにしても、この審議会でこういうコメントを付けるべきではないかとか、この部分についてはシートでは表現しきれないが、今、社会で非常に重要になっているので、来年度に向け

てこういうことが必要だ、というメッセージをきちんと書き込めるように、最終的にまとめる必要があります。

【委員】 行政ではメッセージを発することはできないですが、このような審議会からみなさんに対するメッセージを発することも、場合によっては必要ではないかと思います。すべて行政ではないと思います。

【事務局】 今、言っていただきましたように、審議会を活用させていただいて、外部発信させていただけるとありがたいと思います。内部にも審議会からのご意見として、内外発信に活用させていただきたいと思います。

【会長】 人権は重要ですが、ともすると、行政組織の中では、本来業務から見れば付属的な位置付けにされることが、少なからずあります。そういう意味では、担当課としては協力を得られないこともあるかと思います。その点では、このような審議会がバックアップし、援軍になって、推進につないでいただければと思います。

今日お出しいただいた疑問点やお考えを参考にして、進捗管理のシートやその他の部分をまた手直ししながら、まとめていただくことになると思います。

予定の時間を過ぎています。この際、何かあればお伺いしますが、いかがでしょうか。

では、本日の審議は以上といたしまして、この後の進行は事務局にお返しいたします。

【事務局】 長時間にわたり、ご意見、ご審議いただきましてありがとうございます。今のご意見を参考にさせていただいて、進捗管理の真の目的である住民の幸福、人権尊重を通しての市民の幸せをしっかりと目的に据えて、進めていきたいと考えております。

この審議会ですが、次回の予定は来年6月ということで、少し時間が空きますが、大きな宿題・課題をいただきましたので、この半年近くで少しでもいいものができるように頑張っていきたいと思います。

今日は本当に長い時間、ありがとうございました。